



緑化よりどりみどり

“2018 ミス日本みどりの女神”に参加いただき、天皇陛下の「ご下賜金」による記念植樹を行いました。



平成30年5月26日、掛川市三俣の海岸で、市民の皆さんの参加により海岸防災林の造成を進める「潮騒の杜 植樹祭」が開催されました。

(公財) 静岡県グリーンバンクでは、この植樹活動にあわせ“ミス日本みどりの女神”竹川智世(たけかわ ちせ)さんにもご協力いただきながら、地域の皆さんが植栽した苗木の健全な生育と成長した樹木による津波被害の減少を願い、天皇陛下からいただいた「ご下賜金」で記念植樹を行いました。

植樹祭は、天候にも恵まれ市民620人の参加により、3千本の苗木を植栽することができました。

竹川智世ミス日本みどりの女神(左) 中山正邦グリーンバンク理事長(右)

平成30年用 国土緑化運動・育樹運動標語県入選作品

(国土緑化推進機構へ推薦) [学年は応募当時]

- 森づくり 緑と笑顔があふれる未来 原田 理加(一般)
- みずいろと みどりが ちきゅうの元気いろ 橋本 有司(一般)
- 後世へ つないで守る 緑のタスキ 柚木 武藏(富士宮市立富士宮第一中学校1年)
- つなげよう 僕から君への 緑の輪 勝又 京哉(富士宮市立富士宮第一中学校2年)
- 種一つ 育て未来の 森となれ 斎藤 麻梨子(静岡市立東豊田中学校2年)
- 森林は ぼくらがほこれる 宝物 望月 大幹(静岡市立佐馬町小学校4年)
- ぼくの街 緑の山が 守ってる 後藤 哲範(一般)
- 育もう 緑輝く 小さな芽 大橋 亮太(一般)
- 木をうえて 未来のぼくらへ プレゼント 坂口 快月(川根本町立中央小学校2年)
- 未来に届けよう小さな苗木のメッセージ 目黒 裕也(静岡市立清水第七中学校3年)

敬称略

森の名手・名人

(公社) 国土緑化推進機構では、森や山に関わる生業や伝統的な知恵や優れた技を受けつき、他の模範となっている方々を「森の名手・名人」として選定しています。全国では平成29年に70人、平成30年に76人が選定されました。本県で選定された方々は下の表に紹介した皆様です。

推薦部門	生業等	氏名	具体的な内容	主な経歴・受賞歴	住所
H29 加工部門	建築大工	かつまた まさみ 勝又 正美	御殿場市を拠点に、44年にわたり、在来工法と伝統工法の技術に研鑽を重ね、木造建築の技を極めた。伊豆半島西岸の急傾斜斜面に年間30,000本もの柱材を伏せ込み、この標高差を利用してシイタケの発生時期をきめ細かにコントロールしている。また、シイタケの色具合、香り等の向上を図るために乾燥の最終段階で、あえて薪を用いた乾燥で仕上げなどのこだわりを持っている。	H17 静岡県職業能力開発協会表彰 H23~H24 静岡県木造建築工業組合理事、並びに御殿場支部長 H26~ 駿東地域職業能力開発学院長	御殿場市
H30 加工部門	建築大工	おかやま じつお 岡山 実夫	51年にわたり、在来工法と伝統工法の技術に研鑽を重ね、木造建築の技を極めた。住宅建設においては静岡市を中心にして在来工法に伝統工法の技術を活用するとともに、文化財建築物や古民家の修復工事では全国をフィールドに活動している。	H26 静岡県技能士会連合会 優秀技能士表彰 H29 静岡大工建築業協同組合 技能士会会長 H29 全国技能士会連合会長表彰	静岡市
H30 森づくり部門	林業	なかざわけいichirou 中澤恵市郎	47年にわたり、伐採から造林までの様々な林業技術に研鑽を重ね、山林管理の技を極めた。特に、30mを越える樹高の大径木を安全に伐採する技術は、若手作業員の手本となっており、山林作業の現場ではリーダー的存在として山林の管理に従事している。また、地元の区長職を歴任するなど、地域での信頼も厚い。	H11~H12 川根地区技術者公開会長 本川根中学校PTA会長 本川根町社会教育委員	川根本町
H30 森の恵み部門	シイタケ栽培	ふくむろ まさよし 福室 勝義	50年間、原木シイタケ栽培に従事し、貪欲に技術研鑽に努め原木シイタケ栽培の技を極めた。伊豆半島西岸の急傾斜斜面に年間30,000本もの柱材を伏せ込み、この標高差を利用してシイタケの発生時期をきめ細かにコントロールしている。また、シイタケの色具合、香り等の向上を図るために乾燥の最終段階で、あえて薪を用いた乾燥で仕上げなどのこだわりを持っている。	H15 田方椎茸生産組合連合会会長 H15~H16 JA伊豆の国椎茸委員長 全国乾椎茸品評会受賞歴(大臣賞) 第47回(平成11年) 第50~52回(平成14~16年) 第64~65回(平成28~29年)	伊豆市
H30 加工部門	漆器製造	あんどう かずお 安藤嘉津夫	61年間、乾漆器製造に従事し、多様・多形な漆芸技術の習得とともに錫の戻金を使用した独自の漆芸作品を創作するなど、乾漆塗りの技を極めた。氏は、静岡の伝統工芸である指物、錫の戻金を使用して独自に直線カットした模様を配嘗する漆芸を特徴としている。漆黒の表面に浮き上がる銀色のカット模様はインパクトがあり技術の高さを現している。	H24~H29 静岡漆器工業協同組合理事長 H27 静岡県優秀技能者 H27 静岡市伝統工芸展知事賞受賞	静岡市
H30 加工部門	漆器製造	むらこし ひでき 村越 英熙	61年間、乾漆器製造に従事し、金虫塗・銀貝塗、目透塗など、多彩な漆芸技術を習得し、漆塗りの技を極めた。特に、金虫塗、銀貝塗のほか「桐」や「はな」の目透塗を得意とし、駿河指物細工の茶道具等の「塗り」を担当など、静岡の伝統工芸技術の伝承に貢献している。 平成元年からは、子供たちに氏オリジナルの卵殻貼りの漆器製作を指導している。	静岡漆器工業協同組合理事	静岡市

敬称略

◆ 緑化のお問い合わせは ◆

公益財団法人 静岡県グリーンバンク

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町 44-1 静岡県産業経済会館 7F

TEL.054-273-6987 FAX.054-255-6495

<http://www.greenbank.or.jp> E-mail : s-bokin@greenbank.or.jp



公益財団法人 静岡県グリーンバンクは、静岡県の豊かな森林づくりをサポートしています。

平成30年度 緑の募金だより



平成29年度国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

小学校の部



静岡市立西奈南小学校 4年
すぎやま みさき
杉山 心咲

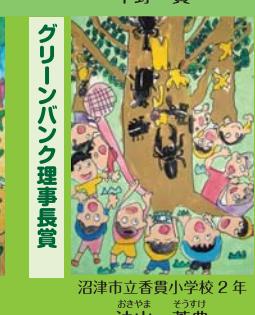


碧田市立田原小学校 2年
たにぐち 谷口 紗永

中学校の部

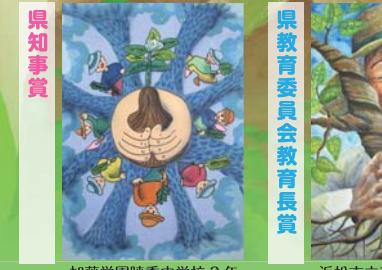


沼津市立香貫小学校 4年
なかの 中野 賢一



沼津市立香貫小学校 2年
おさやま 冲山 蒼典

高等学校の部



浜松市立南部中学校 1年
たかせ 高瀬 詞音



富士宮市立富士宮第一中学校 3年
さの 佐野 夏羽

グリーンバンク理事長賞

グリーンバンク理事長賞

グリーンバンク理事長賞

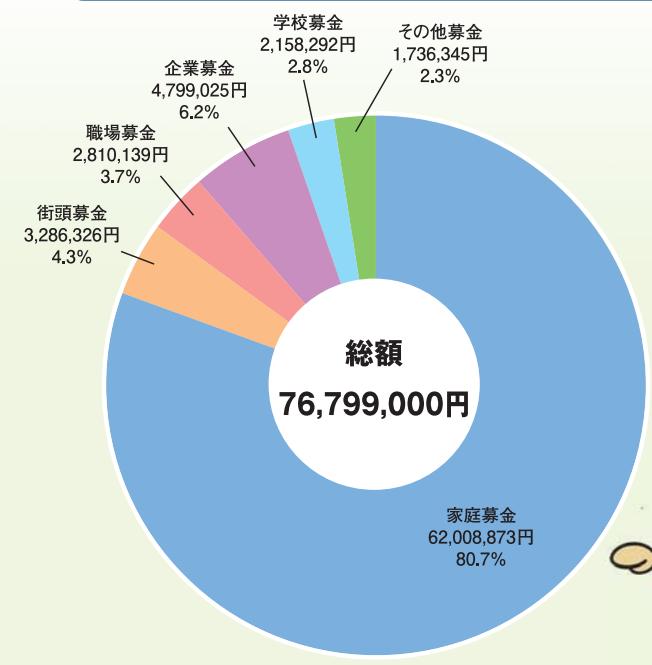
グリーンバンク理事長賞

静岡県立浜松工業高等学校 1年
わたなべ ももこ 渡邊 百々湖

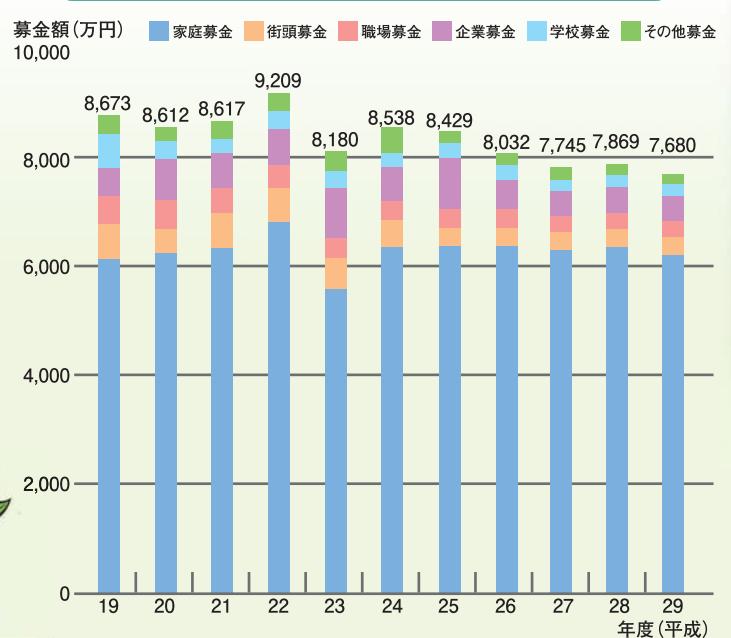
未来に向けてみんなでつなぐ 緑の力

緑の募金は「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、森林の整備や緑化の推進などを図る目的で実施しています。おかげをもちまして、平成29年度の緑の募金は76,799,000円に達しました。ご協力ありがとうございました。

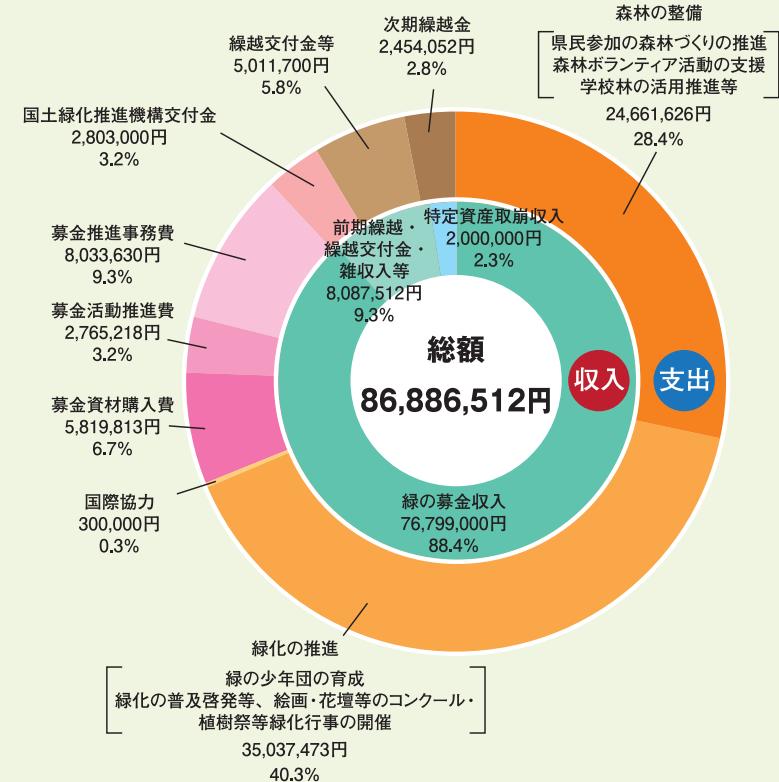
H29年度「緑の募金」の実績



「緑の募金」の募金額推移



H29年度「緑の募金」の使途



平成29年度 皆様のご寄附でこんな取組が行われました

109,427本の木や花の苗を植えました。

森づくり、公園、学校など地域の緑化のため、県内で 109,427 本の木や花の苗が植えられました。

皆様に 71,260本の木や花の苗を配りました。

緑化キャンペーンや植樹祭等のイベントの場で県民の皆様に、71,260 本の木や花の苗が配布されました。

569.7haの森林が手入れされました。

植え付け、下刈り、間伐など県内で 569.7ha の森林が県民の自発的活動により手入れされました。

209,178人の皆様が参加して森づくりイベント等を行いました。

植樹・森林整備活動・森林教育・講演会や農業祭等の各種イベントに 209,178 人の皆様が参加しました。

県内195件(団体)の活動に助成しました。

地域の自治体、ボランティア団体、学校、緑の少年団など県内 195 件(団体)の活動を支援しました。

海外で森林整備等の事業を行った団体に助成しました。

静岡の国際貢献活動を支援しています。

「緑の募金」は
このようなことに
役立っています。

「緑の募金」は、大切な森林や緑を、
県民の皆様やボランティアの協力などで
守り育て、次の世代に引き継いでいくための
取り組み等に役立てています。

